

**臨時雇用・景況アンケート調査  
（平成21年7月実施分）  
結果概要報告書**

平成21年8月

長 浜 市

## 調査概要

1. 調査期間 平成21年7月21日(火)から7月30日(木)
2. 調査方法 郵送配布、郵送回収によるアンケート調査
3. 調査事業所所在地 主として長浜市内
4. 調査事業所 20人以上の従業員を有する事業所 177社  
(一部20人未満を含む)
5. 回収結果 回収率: 46.9%  
(対象数 177社、回収数 83社)
- ・製造業 (46社 / 75社)
  - ・建設業 (7社 / 9社)
  - ・卸売業 (2社 / 10社)
  - ・小売業 (3社 / 17社)
  - ・サービス業 (17社 / 41社)
  - ・運輸・通信・倉庫業 (6社 / 14社)
  - ・料理・飲食・旅館業 (2社 / 11社)
6. 調査主体 長浜市産業経済部商工振興課
7. 調査内容
- 【設問概要】
- 質問1 労働者数について
- 質問 1-1 本年5月と比較した正規雇用従業員の変化についてお教えてください。
- 質問 1-2 本年5月と比較した派遣・請負・期間労働者数の変化についてお教えてください。
- 質問 1-3 今後の正規雇用従業員数の見通しについてお教えてください。
- 質問 1-4 今後の派遣・請負・期間労働者数の見通しについてお教えてください。

質問2 雇用調整の動向について

- 質問 2-1 本年6月以降の雇用調整の有無についてお教えてください。
- 質問 2-2 質問2-1で「実施した」とお答えした方にお聞きします。  
実施した雇用調整の内容についてお教えてください。
- 質問 2-3 今後の雇用調整の実施についてお教えてください。
- 質問 2-4 質問2-3で「実施する」とお答えした方にお聞きします。  
実施する雇用調整の内容についてお教えてください。
- 質問 2-5 質問2-3で「実施する」とお答えした方にお聞きします。  
雇用調整を実施する時期及びその人数についてお教えてください。
- 質問 2-6 国の雇用に関する助成制度の利用状況についてお教えてください。

質問3 売上高・受注高の状況について

- 質問 3-1 売上高・受注高について、平成21年7月現在は前年同時期に比べてどのような状況かお教えてください。
- 質問 3-2 売上高・受注高について、今後の見通しをお教えてください。

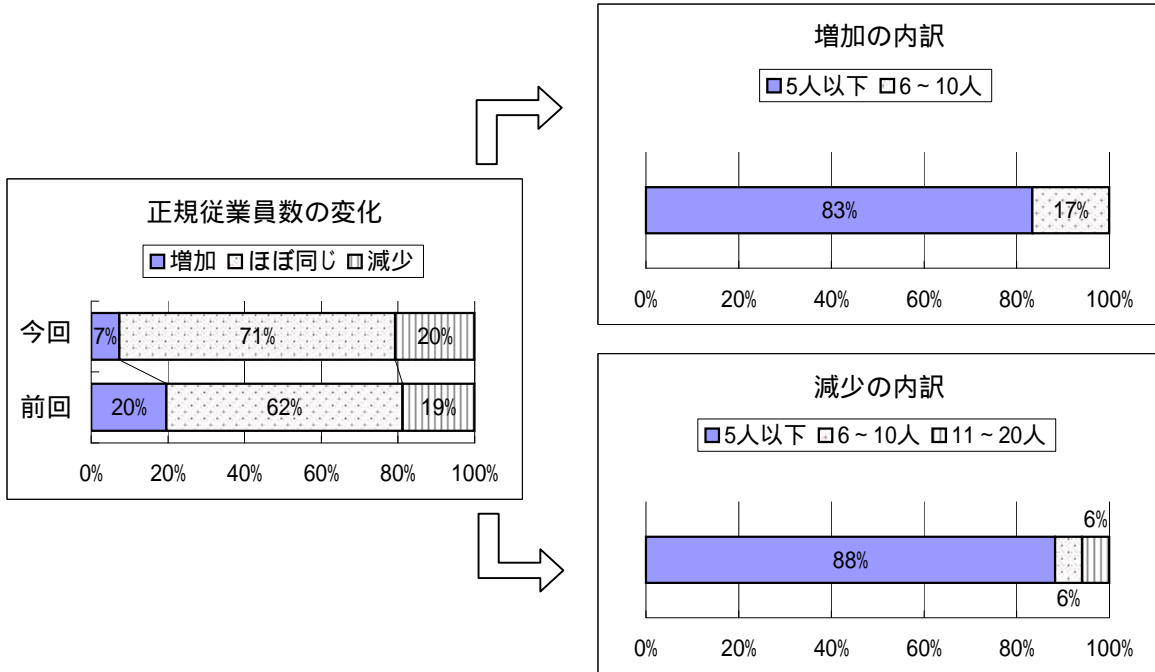
質問4 雇用維持・安定のために必要な対策について

- 質問 4-1 昨今の景気後退に伴い、国において総合経済対策の実施がされていますが、市や県に対してご意見やご要望があればご記入ください。

質問1 労働者数について

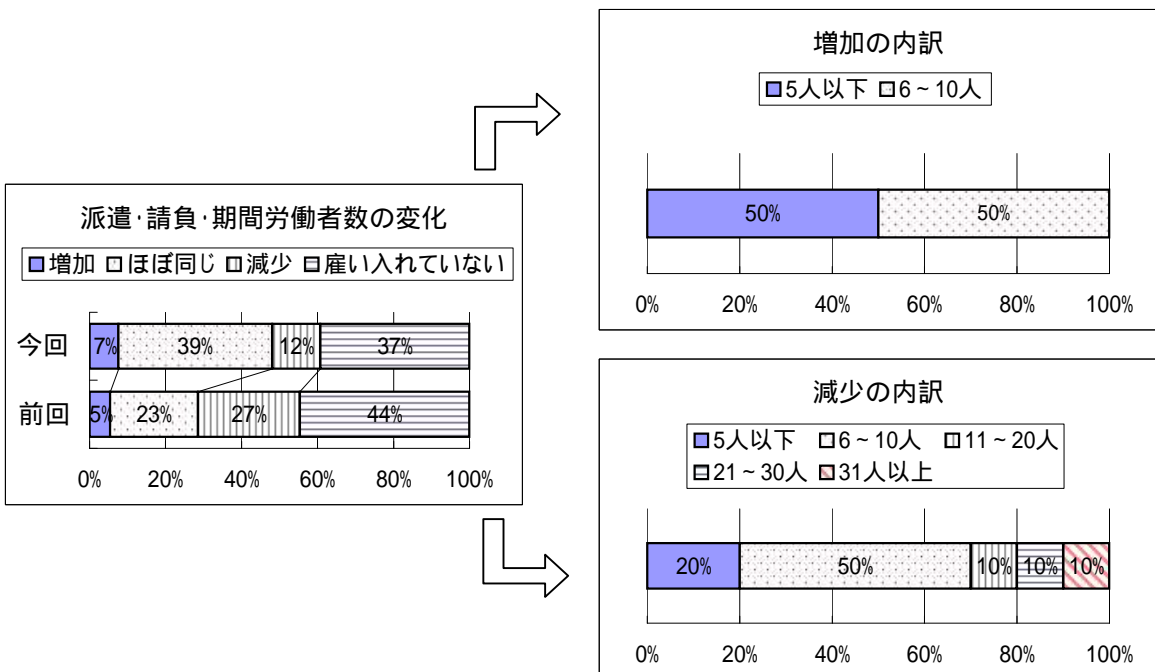
1-1 本年5月と比較して、正規雇用従業員数の変化についてお教えてください。

「ほぼ同じ」が前回より9%増加して72%で最も多く、大きな変化をしている企業は少ない。また、変化人数は小規模なものであるため、大規模な増減は、行われていない。



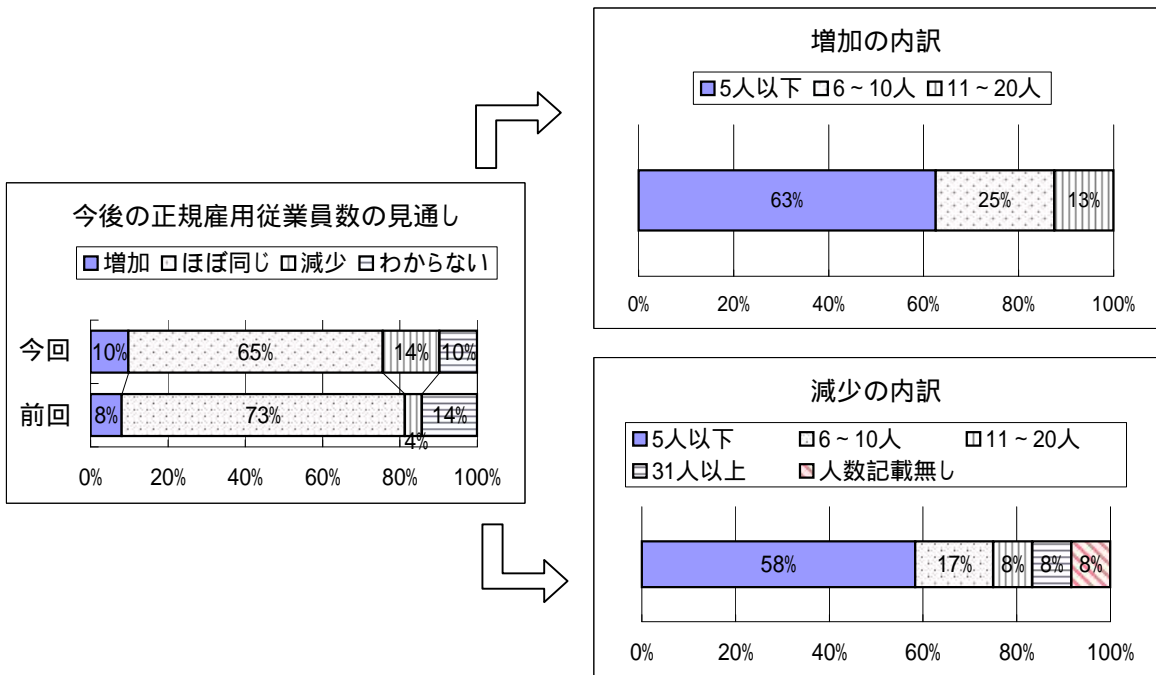
1-2 本年5月と比較して、派遣・請負・期間労働者数の変化についてお教えてください。

「ほぼ同じ」が39%で最も多いが、「減少」が前回より15%減少しており、派遣・請負・期間労働者数の縮小傾向は一定収束してきている。また、変化人数は大規模なところも多く、ピークは過ぎてきていると推測する。



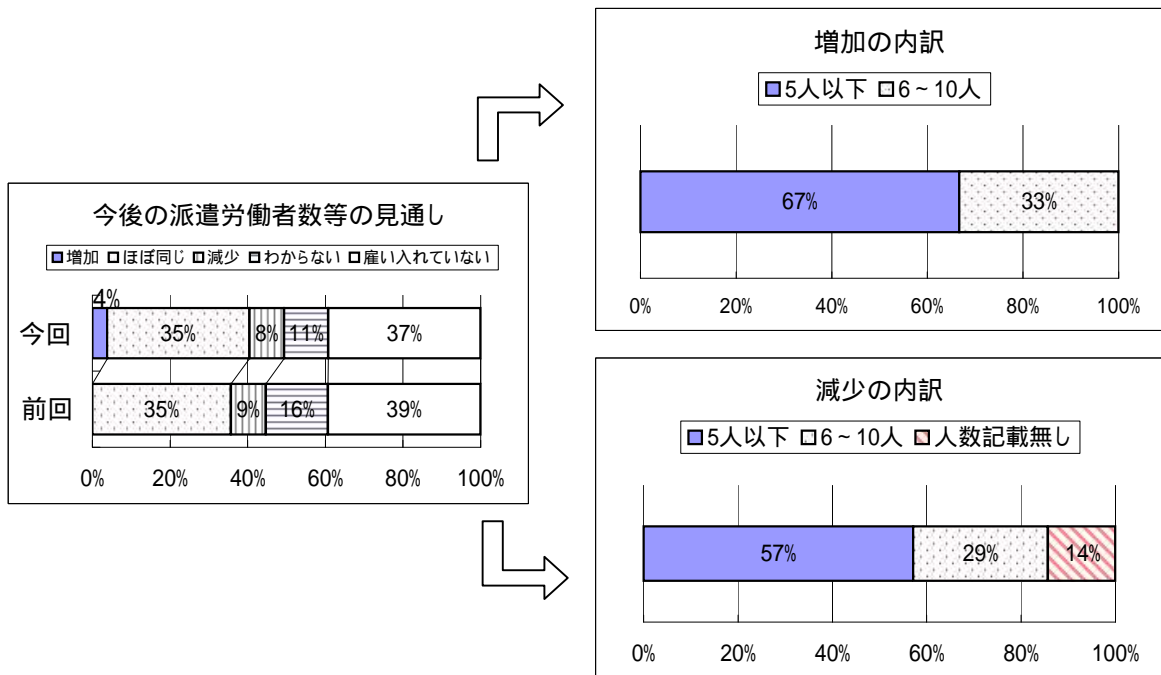
1-3 今後の正規雇用従業員数の見通しについて教えてください。

「ほぼ同じ」が65%で最も多いが、「減少」が前回より10%増加しており、派遣・請負・期間労働者の削減を終えた事業所が正規雇用従業員に手をつけ始めてきていると推察する。また、変化人数も大きく、今後の雇用情勢の悪化が懸念される。



1-4 今後の派遣・請負・期間労働者数の見通しについて教えてください。

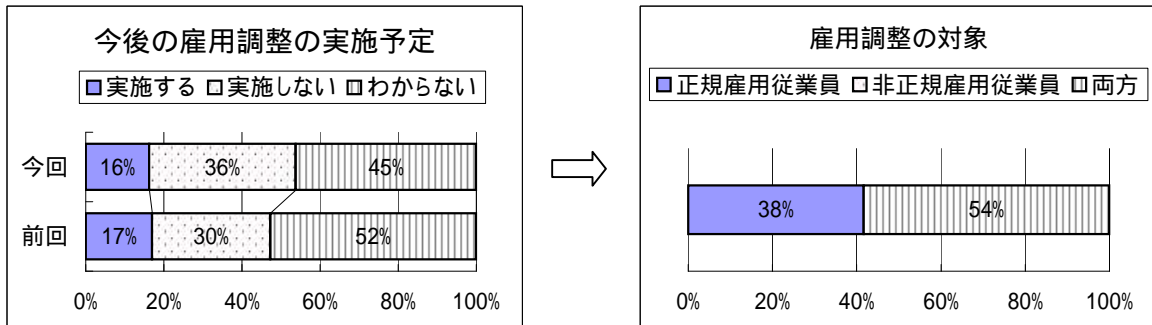
「雇い入れていない」が37%と最も多く、「減少」は前回より1%減少とほとんど変わっていないため、一定の削減は終えたものと推測される。また、変化人数も小規模なものであり、今後も大きな減少はないものと推察できる。





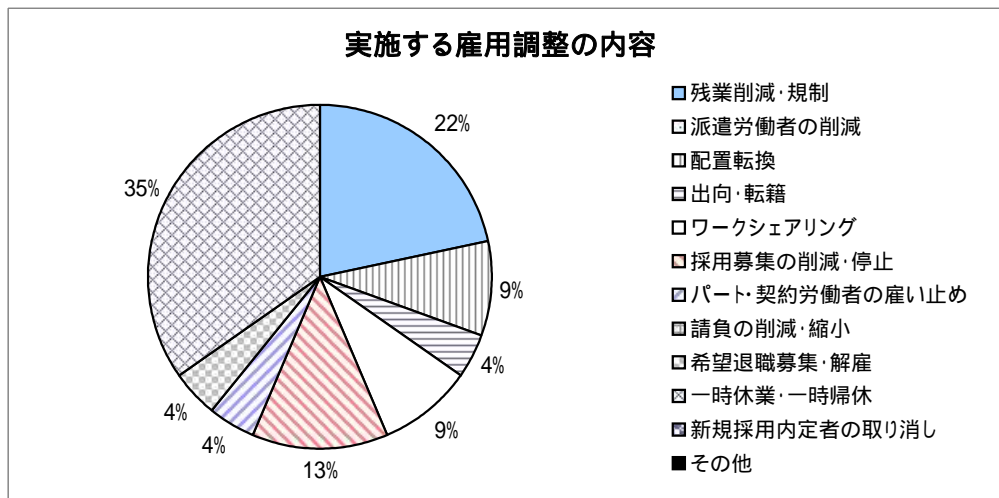
2-3 今後の雇用調整の実施について教えてください。

今後の雇用調整については、「わからない」が45%でまだまだ不透明な状況であり、「実施しない」36%について、「実施する」が16%となった。また、「実施する」のうち、調整対象の内訳は下のグラフのようになった。



2-4 2-3で今後雇用調整を1)「実施する」と回答された方にお聞きます。  
実施する雇用調整の内容として、当てはまるものにつけてください。(複数回答)

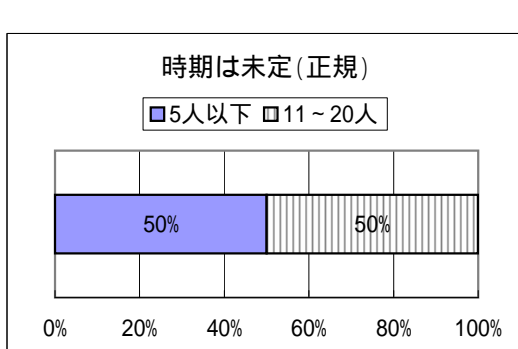
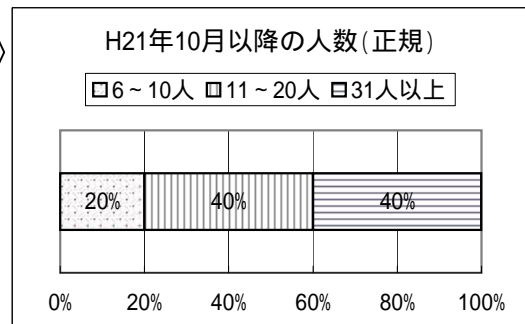
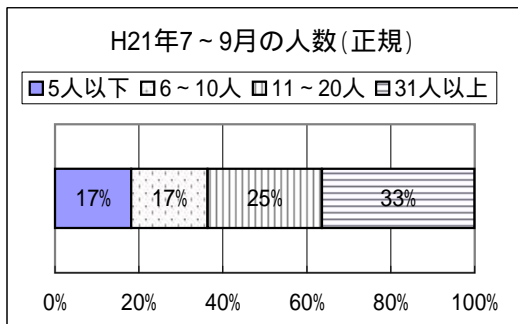
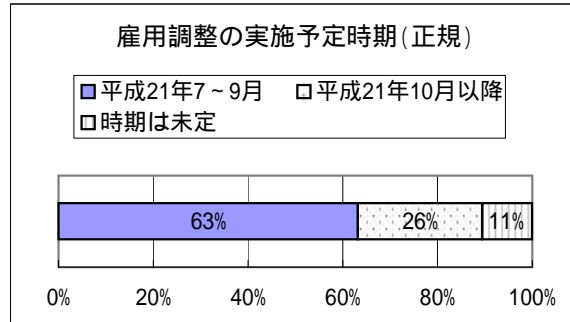
今後予定している雇用調整の内容としては、10)の「一時休業・一時帰休」が22%で最も多く、ついで1)の「残業削減・規制」が22%、6)の「採用募集の削減・停止」が13%となった。



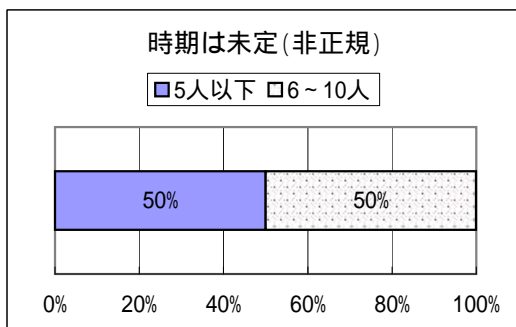
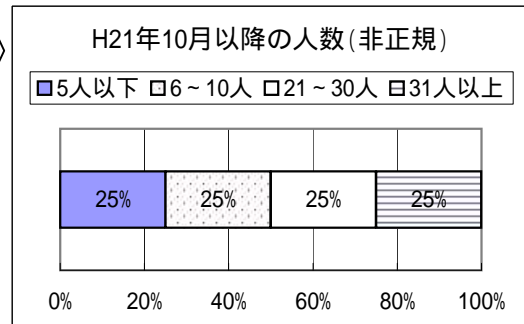
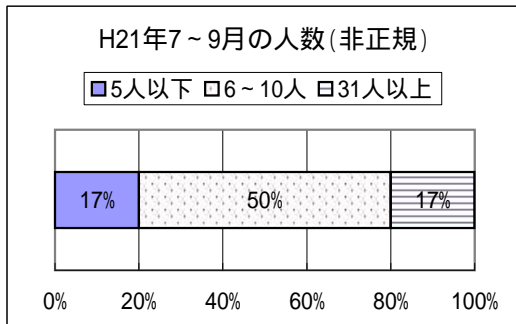
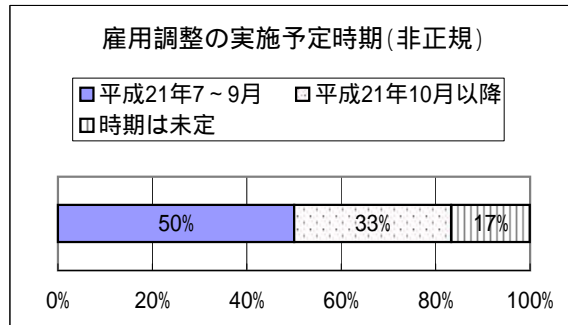
2-5 2-3で今後雇用調整を1)「実施する」と回答された方にお聞きます。  
雇用調整を実施する時期及びその人数についてお教えてください。

今後の雇用調整の実施時期については、「平成21年7月～9月」が、正規雇用労働者で63%、非正規雇用労働者で50%と、ともに最も多く、早期に検討している企業が多い傾向にある。また、残業削減・規制や配置転換を行う人数については、正規雇用は「11～20人」及び「31人以上」が最も多く、非正規雇用は「6～10人」が最も多かった。

【正規雇用労働者】

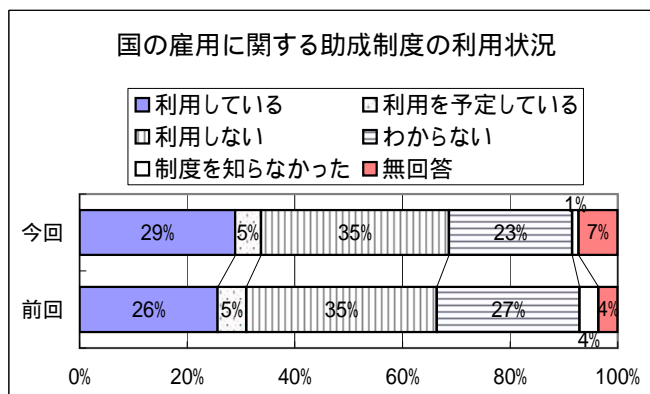


〔非正規雇用労働者〕



2-6 国の雇用に関する助成制度(雇用調整助成金、中小企業緊急雇用安定助成金など)の利用についてお教えてください。

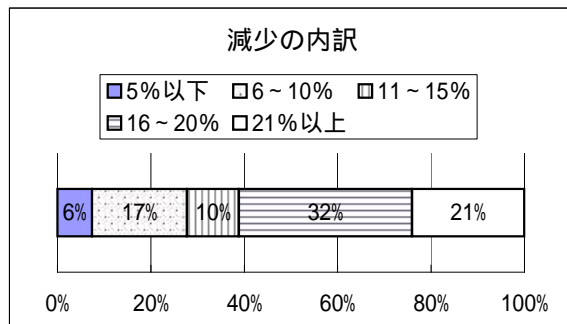
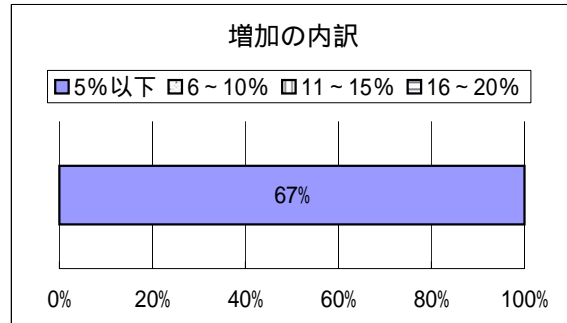
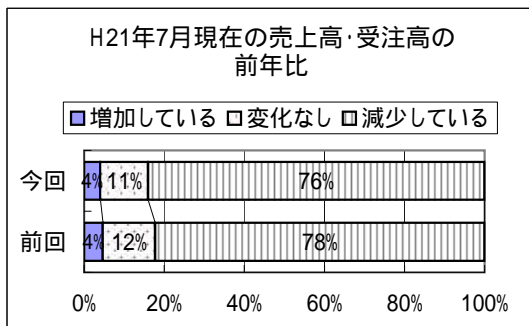
「利用しない」が35%と最も多いが、「利用している」が前回より3%増加しており、利用状況が若干拡大している。また、「制度を知らなかった」も前回より3%減少していることから制度の周知も行われていることがみてとれる。



### 質問3 売上高・受注高の状況について

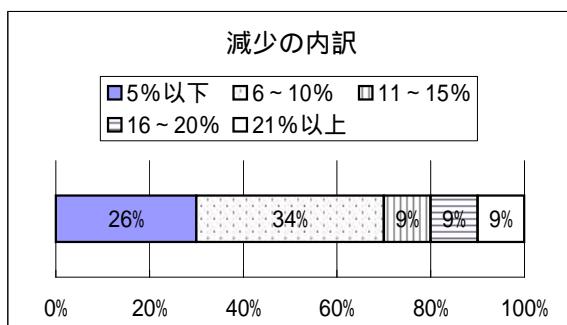
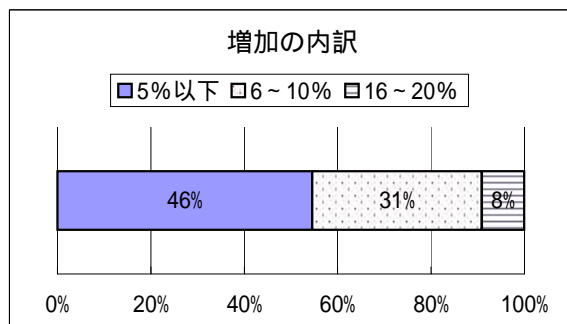
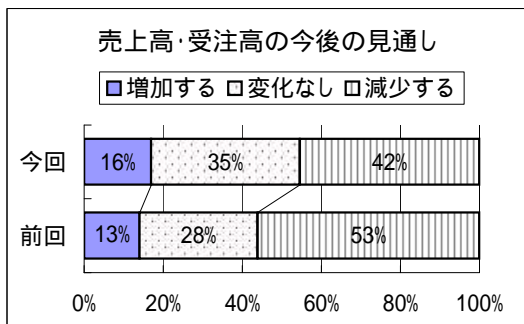
3-1 売上高・受注高について、平成21年7月現在は前年同時期に比べてどのような状況ですか。

「減少している」が76%と大半を占めた。減少率は、「16～20%」減少と「21%以上」減少が最も多く、「減少している」と答えた企業の50%を占めている。また、「5%以下」の増加と答えた企業が4%となっている。



3-2 売上高・受注高について、今後の見通しはどのようにお考えですか。

「減少する」が42%と最も多いが、「増加する」が前回より3%増加しており、回復の兆しが見えつつある。また、減少率には幅が見られるため、これは業種による違いであると推測される。



**質問4 雇用維持・安定のために必要な対策について**

4-1 昨今の景気後退に伴い、国において総合経済対策の実施がされておりますが、市や県に対してご意見やご要望があれば記入してください。

以下のようなご意見が寄せられました。

地元業者の工事が増加するように努力してください。

地域経済安定のための一つとして、市内業者の受注機会の拡大があがっているが、資金繰り優先による自らの付加価値を下げての安価受注をねらう市外業者の受注を防がないと意味がない。市内にお金が落ちてこそ安定がある。税金の効果的かつ有効な利用をもっとまともな理念を持って実施すべきである。

緊急雇用創出特別事業のようなばら撒きの一過性の対策はいかなるものか。根本的な解決にはならない。

助成等より減税改革をするべき、あわせて年金等の制度改革をするべきではないか。